

[道路施設基本データ位置図作成について]

【解説】

道路施設基本データ位置図は、完成平面図や道路台帳附図等を基に、今回施工して道路施設台帳を作成した位置を工種に関わりなく全てを旗揚げした位置図のことである。尚、データはPDFファイルで作成するものとする。(撤去・補修・移設等も含む)

★タイトルの記載方法

位置図の上段中央付近に下記内容のタイトルを記載する。

- ・工事名
- ・位置図番号（当該工事内でユニークとなる番号とする）

I で始まり、3桁の番号で構成される。

作成例：I 001 ※ I は固定

1枚なら001で、2枚目からは002、003となる。

★道路施設台帳の位置の旗揚げ記載方法

道路施設台帳の位置の旗揚げは下記内容を記載する。

- ・施設（防護柵、道路標識等）
- ・整理番号（道路施設台帳の右上欄にある整理番号を記載、既存データを修正する場合も、既に付けられている右上欄にある8桁の整理番号を記載）
- ・距離標（百米標又は測点）及び距離標からの距離(m)

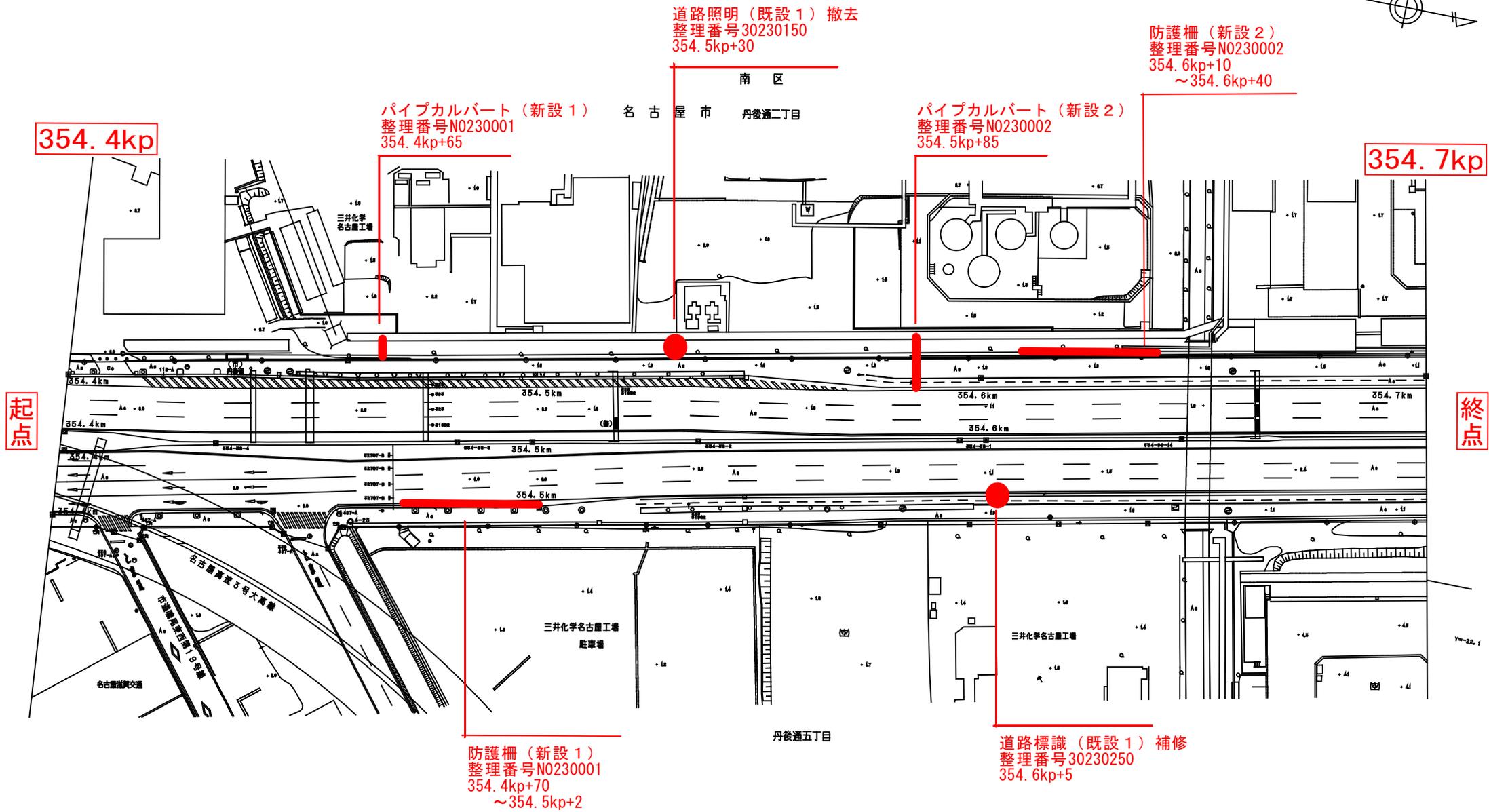
★道路施設基本データ位置図の電子納品方法は、『道路施設基本データ作成システム利用マニュアル』P18・19に記載。

※[道路施設基本データ位置図]のサンプルは次ページに示す。

道路施設基本データ位置図

平成〇〇年度 ○○○○○○○工事

位置図番号：I 0 0 1



354. 4kp

起点

パイプカルバート (新設 1)
整理番号N0230001
354. 4kp+65

道路照明 (既設 1) 撤去
整理番号30230150
354. 5kp+30

南区
名古屋市 丹後通二丁目

パイプカルバート (新設 2)
整理番号N0230002
354. 5kp+85

防護柵 (新設 2)
整理番号N0230002
354. 6kp+10
~354. 6kp+40

354. 7kp

終点

防護柵 (新設 1)
整理番号N0230001
354. 4kp+70
~354. 5kp+2

丹後通五丁目

道路標識 (既設 1) 補修
整理番号30230250
354. 6kp+5